

報告日 令和7年2月7日
報告回数 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	那覇市			代表者名	知念 寛
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	市民文化部まちづくり協働推進課	連絡先電話番号	098-861-3846
担当者役職	主査	担当者氏名	新垣 威知郎	連絡先E-mail	
住所	901-8585 沖縄県那覇市泉崎1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	なは市民協働大学院
概要	職員及び市民活動団体へのデータ活用とオープンデータ化の機運を高める		
支援を求める分野	オープンデータ AI 活用 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	38	令和6年11月12日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月14日	支援・助言(実地)	8時30分	12時00分	
				活動時間（分）	210
2-2.	会場名	那覇市役所本庁舎	最寄駅	ゆいレール県庁前駅	
派遣場所	所在地	沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	多田 功
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	Well-beingの活用（データ利活用の観点）という内容でコレクティブインパクトゲーム等を活用した講演を行ってもらったが、とても分かりやすく、Well-beingをデータ利活用の観点から捉えることができ、本市職員のWell-beingへの理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	20人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
人数	20	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市においてはオープンデータ化の機運が薄く、業務にデータを活用する頻度も低かった。また、本市が市民に学びの場を提供するなは市民協働大学院においても、受講生による地域課題の派遣及び解決に向けてデータに裏付けされた具体的な企画を作成することが困難であった。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市職員のオープンデータ化の機運の醸成及び、業務における積極的なデータ活用、なは市民協働大学院受講生が地域課題の発見・解決にあたってデータに裏付けされた分析、データを活用した仮説を立てられることで、本当の地域の課題を発見し、それを解決できるようになること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	Well-beingの活用(データ利活用の観点)という内容でコレクティブインパクトゲームを活用した講演を行ってもらったが、とても分かりやすく、Well-beingをデータ利活用の観点から捉えることができ、Well-beingへの理解が深まった。 本市の保有する情報のオープンデータ化を目指し、業務の遂行にデータを活用していくうえで、Well-beingの観点からデータを利活用する方法もあることをご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	SDGsの次の指標と言われるWell-beingを理解することで、本市の保有する情報のオープンデータ化について、Well-beingの観点から利活用可能な形で行なうこともできると知り益々オープンデータ化へ向けた機運が高まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物はまだなく、今後本市の保有する情報を積極的にオープンデータ化するとともに、これらのデータを活用し本市の地域課題の発見及び解決に今回の講座を活かしていきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	オープンデータに向けた機運の醸成、その手法等についてご教示いただいたが、本市の保有する情報のオープンデータ化に向けては、他部署で連携を図り行っていく必要があり、今後オープンデータ化へ向けて今回の支援を活かしていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本市職員にアンケートを行った結果、今回の派遣事業にて開催した講座の内容について、Well-beingへの理解が深まった、Well-beingの観点からデータの利活用を行えることが分かりデータ利活用についての理解の幅が広がった等の意見が多数あり、狙った以上の効果があった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 今回の講座をふまえて具体的な内容を固めてから予算措置等を行い、実際に推進していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本市の保有する情報を可能な限りオープンデータ化し、市民自らがそのデータを活用し地域課題を発見し、自ら又は行政と協働し解決を行い、より住み良い地域を実現していける那覇市を目指します。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載不可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

